

令和5年5月12日
気象庁大気海洋部

配信資料に関するお知らせ

～線状降水帯の雨域の提供開始日時及び
顕著な大雨に関する気象情報の運用変更について～
(配信資料に関する技術情報第 605 号、配信資料に関する仕様 No. 11103、
令和3年5月24日付お知らせ 関連)

顕著な大雨に関する気象情報を発表した際に気象庁ホームページで表示する線状降水帯の雨域の配信について、提供開始日時及び試験配信の日程が次のとおり決定しましたのでお知らせします。

また、顕著な大雨に関する気象情報の運用を次のとおり変更しますので、併せてお知らせします。なお、顕著な大雨に関する気象情報の運用変更に伴う気象庁防災情報 XML フォーマットの変更はありません。

1 線状降水帯の雨域 提供開始日時

令和5年5月25日(木)13時00分初期値のデータより

2 線状降水帯の雨域 試験配信の実施時期

- ・令和5年5月18日(木)11時10～20分頃
- ・令和5年5月22日(月)11時10～20分頃

○留意点

- ・試験配信において配信するファイルは、本運用開始前の試験ファイルですので、業務利用は避け、システムの動作確認等に用いていただきますようお願いします。

<試験配信ファイル名>

(5月18日実施分)

Z_C_RJTD_20230518020000_MET_INF_Pslmcs_Fper10min_FH0000-0030_shape.tar.gz

(5月22日実施分)

Z_C_RJTD_20230522020000_MET_INF_Pslmcs_Fper10min_FH0000-0030_shape.tar.gz

- ※ Z と C の間にはアンダースコアが 2 個設定されている点に注意してください。
その他のアンダースコアは 1 個です。yyyyMMddhhmmss はデータの年月日時分秒を UTC (協定世界時) で表します。

3 顕著な大雨に関する気象情報の運用変更

(1) 変更内容

府県気象情報、地方気象情報、全般気象情報において、「顕著な大雨に関する気象情報」という標題により、大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で降り続けている状況を「線状降水帯」というキーワードを使って解説しています。この情報について、予測技術を活用し、これまでより最大30分程度早く発表する運用を令和5年5月25日(木)13時から開始します。

本変更に伴う気象庁防災情報 XML フォーマットの変更はありません。また、気象庁ホームページ等において、運用の変更に対応した解説を掲載します。

(2) 変更の対象となる情報のデータ種類コード・ファイル名

- ・VPZJ50、VPCJ50、VPFJ50

4 配信資料に関する技術情報の修正について

標記技術情報の別添2の「(参考) 気象庁ホームページにおける表示」を修正します。

以上